

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和6年3月14日

提出者

須山隆
岸道三
高橋雅彦
成相安信
尾村利成
中島謙二
森山裕介

久城恵治
大國陽介
池田一
五百川純
白石恵子
岩田浩岳

野津直嗣
嘉本祐一
大屋俊弘
中村芳信
角原智子
原拓也

(別紙)

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

膠原病患者は、多くの方が膠原病を若い時に発症し、免疫抑制治療を受けるので、带状疱疹を発症する人が多く、何回も繰り返す人もいます。

带状疱疹の病気の特徴としては、皮膚上に現れる水ぶくれを伴う赤い発疹と、その部位の神経に沿って眠れないほどの激しい痛みを伴うことがあげられる。

この带状疱疹の発症を予防するためには、ワクチン接種が有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

また、皮膚病変が治癒した後に疼痛が続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症や、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴やめまいなどを引き起こし、目や耳に障がいが残ることもある。

よって、国におかれては、一定の年齢以上の国民に対する带状疱疹ワクチンの有効性を早急に確認し、接種に係る助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を講じるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和6年 月 日

島根県議会

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

【令和6年3月14日原案可決】